

除草体験報告 チャレンジ体験

会員 内山 美紀子
(除草西班所属)

残暑の厳しい中、除草班体験に参加しました。熱中症、防蚊対策をしつかりして臨みました。始めに鎌、熊手の使い方など指導頂きながら作業を進めました。適宜休憩をとり水分補給をしたり雑談の中でも鎌のとき方を教えて頂きました。

本格的な作業には、お弁当持参で少人数で数ヶ所、児童公園など廻ります。近くに暮らしていても気付かなかった小さな公園が沢山あり驚きました。
昼食は、緑に囲まれ涼風に癒され久しぶりの戸外での食事を楽しみました。

大小の公園には、それぞれ名前があり動物の名前、植えられている樹木の名前がつけられていて四季の移ろい、彩りを感じられる楽しい作業と思いました。日頃何気なく通り過ぎていた通路などの手入れに感謝し違う視点で見えるようになりました。新しく仲間に加えて頂き学ぶことも多く今後も楽しく作業して行きたいと思えます。



植木体験報告

就業支援講習

会員 末吉 達己
(植木班所属)

令和3年度東京しごと財団主催の「植木剪定講習会」を受講しました。

受講者は、例年35〜50人のところコロナの影響で12名でした。道具説明や安全作業の座学及びストレッチ講習は、飯田橋の東京しごとセンターで2日間、剪定実務講習は、小金井の東京学芸大学構内で8日間行ないました。

安全講習では、山仕事のポランテアをやっていた関係で常に心掛けていましたが、気の緩みによる事故例等の説明があり、道具の正しい使い方や高所での安全意識の重要性を再認識できました。スト

レッチは日頃実践しています。椅子やタオルを使ったストレッチは新鮮でした。

剪定実習では、切り戻しやすさを主に行いました。シダレモモやウメ等の落葉樹、キンモクセイ、モッコク等の常緑樹、マツ等12種の剪定を行いました。徒長枝や交差枝、胴吹枝等は基本的に切除し、樹形を整えている時はあえて残すようにしていました。今後の樹形を考え、なるべく施主の許可を得て切除したほうが良いとアドバイス頂きました。マツでは、もみあげと同時に枝の隙間に詰まった枯れ葉も落とし、絡んだ枝や重なった枝を除き、隅々まで光が通るように透かして枝枯れを防ぐと指導頂きました。但し、冬越しには一定の葉量が必要で、7割以上の葉を落とすと枯れる危険があるとの事でした。1枝ずつの手作業

で手間が掛かり、剪定期も早く指先にヤニが付き大変でした。ミドリ摘みの基本は、V字型の2本を残して半分長さで摘み、残りの新芽は付け根で摘むと指導頂きました。長く伸びた新芽の切り戻しともみあげだけでも樹形はすっきりしました。奇遇にも同班員6名の内私含め3人が長崎県佐世保市出身で、早速同郷懇親会を行い、今後も定期的に剪定よもやま話を行う予定です。本講習会で得た経験を今後の剪定に活かしていきたいと思えますので宜しくお願い致します。





整理収納アドバイザー
中村恵美先生 講義

中山副会長・事業委員長
シルバー人材センター説明

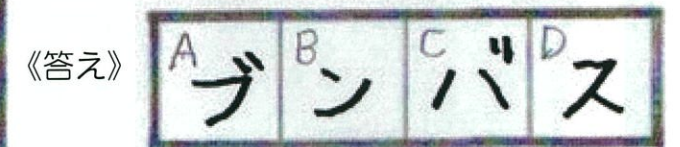
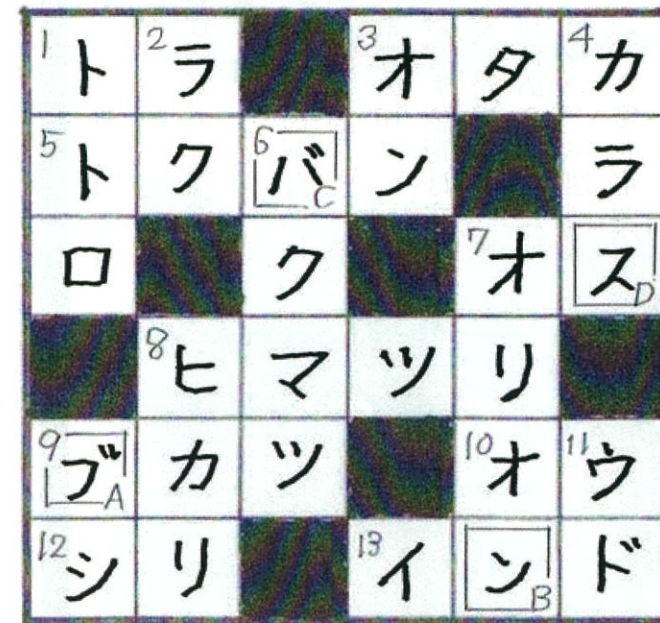
令和3年11月29日(月) リオンホールにて
中村恵美先生による「整理収納セミナー」を開催しました。
当日はシルバー人材センターのお仕事に興味をお持ちいただいた36名の市民のみなさまの参加があり、事例や実際の収納術を学ぶことができたことと好評をいただきました。
また13名の方が入会説明会参加のご予約くださいました。今回の講義で学んだ技をいかして、福祉家事援助のお仕事他、市内でご活躍いただけることを願っております！

皆さん！！温まりましたでしょうか？

～地域班親睦会中止に伴う配布物～

この度、12月の配分金明細書と一緒に会員の皆さま全員へ、入浴剤のプチギフトをお送り致しました。届きましたでしょうか？
コロナ禍で窮屈な思いをされている皆さまの安らぎとなればと、心ばかりですが、入浴剤とメッセージカードを同封いたしました。
今年こそは「地域班親睦会議」に皆さんが元気な姿で集まれることを楽しみにしておりますので、引き続き健康には十分注意をしてお過ごし下さい。

クロスワード・パズルの答え



ぶんバス(フンバス、ぶんぼすも可)



国分寺市広報番組
「国分寺ぶんぶんチャンネル」さんに
当センターを取材していただきました！

お仕事で活躍されている会員の皆様の様子をご紹介いただいております！ぜひご覧ください。

放送日時 令和4年1月10日から19日まで
午前9時15分から30分まで
午後0時15分から30分まで
午後8時15分から30分まで

放送チャネル ジェイコム東京デジタル11チャンネル

国分寺市ホームページでもご覧いただけます。
国分寺市公式 YouTube
* YouTube なら放送終了後でも見られます！

会員消息

新しい仲間です。よろしくお願ひします。

令和3年6月1日～令和3年12月31日

地域班コード	会員氏名	性別	地域班コード	会員氏名	性別
西 町第3班	藤原 量平	男	本 町第1班	加藤 靖昭	男
戸 倉第4班	原田 勇	男	西 町第1班	春名 勝次	男
日吉 町第1班	姉崎 道子	女	東恋ヶ窪第2班	細川 隆一	男
泉 町第4班	山本 典二	男	西元 町第2班	佐藤 節子	女
東戸倉第2班	館野 隆則	男	泉 町第4班	土屋恵美子	女
本 多第1班	鈴木 佳子	女	泉 町第4班	成澤 光男	男
泉 町第3班	高木 貞子	女	本 多第1班	荒木 等	男
東恋ヶ窪第4班	鈴木 清	男	内 藤第2班	紅屋 佑一	男
戸 倉第3班	篠田 勉	男	南 町第1班	樋口美智子	女
北 町第1班	横田知恵子	女	東恋ヶ窪第2班	廣瀬 愼子	女
東元 町第2班	末木みな子	女	本 多第1班	渡辺喜美代	女
南 町第1班	須藤 公雄	男	東元 町第4班	渋谷 修	男
泉 町第2班	丸山 勇	男	東元 町第4班	渋谷まさ子	女
高木 町第1班	小畑隆三郎	男	南 町第1班	松田 直樹	男
南 町第1班	豊田 寿男	男	東恋ヶ窪第2班	小山 警子	女
南 町第1班	安藤 清明	男	富士 本第2班	北田 道男	男
西 町第3班	内山美紀子	女	泉 町第4班	稲本 睦美	女
南 町第1班	石橋 春夫	男	高木 町第1班	大橋 康人	男
東恋ヶ窪第4班	高橋 正之	男	東元 町第2班	澤崎和佳子	女
西恋ヶ窪第2班	平野 朱美	女	本 多第2班	土屋 泰則	男
新 町第1班	館森 正敏	男	東恋ヶ窪第3班	山本 芳雄	男
日吉 町第1班	小山真知子	女			

長い間、ご苦労さまでした。

<p>訃報</p> <p>謹んでご冥福を お祈り申し上げます</p> <p>小池 信治 様 金田 修一 様</p>	<p>谷村 紀男 金城 尚 杉田 重 三浦 直 景野 マリ 原野 正 金子 孝 有賀 喜 船橋 一 大場 仁 中川 実 桑原 修 原喜 八郎</p>	<p>牧野 和子 森山 秀樹 西田 卓 塩川 巳 湯邊 誠 飯島 宏 瀬野 剛 芦澤 文 鎌田 夫 中山 義 中村 正 敏 裕 泉 昭</p>	<p>小原千恵子 河原昌滋 原島三恵 上藤田幸 原篠田召 橋田寶 大崎武 杉山子 鈴木ユウ 平野悦 森文江</p>	<p>夫樹章 治英 克 伊福村 悦 峯岸 半田 吉久 保 飯島 井 酒佐 藤 栗原 松 本宮 嶋</p>
--	--	---	---	--

編集後記

「今を大事に生きる」

庭一面のサギゴケの上に木々の枯れ葉がだいぶ積もってきた。今日も、20羽以上の雀がエサを啄ばみに庭に来る。春には、子雀が何羽も来て、母鳥にエサをねだっている姿は、なんとも微笑ましい光景である。コーヒーを飲みながら、こんな光景を眺めているのが、ホットするひと時でもある。

そんな時、レターバックが届いた。かなりの重量があった。送り主は、私の学校の先輩からのもので、中からは、A4版900頁もある「分厚い書籍」が出てきた。書籍の表紙には、「自分史」(吾が道程)と書かれてある。これまで、何人もの「自分史」が送られてきたが、これ程の本格的なものは初めてであった。4歳年上の先輩が書かれた「自分史」のなかでの歩みは、私にとって、ほぼ同じような年代で、学生時代・サラリーマン時代を過ごしてきたことで、まるで自分のことのような思いで、ページをめくった。全て読み終え、行間に刻まれた熱い思いに、私自身の自分史を心に映し、決して永くはないこれからの私の生き様を考えてしまった次第です。

そのとき、ふっと頭を過ったのが、唐代の詩人「于武陵」(うぶりよう)の「勸酒」と趙昌仁著「カラコギ」のなかの詩でした。ともに、人生は、辛いことや悲しい別れが多いが、だからこそ、今を精一杯楽しもうという気持を詠んだ詩です。

「勸酒―サヨナラだけが人生だ」(井伏鱒二訳)、「コノサカズキヲ受ケテクレ、ドウゾナミナミツガシテオクレ、ハナニアラシノタトヘモアルゾ、「サヨナラ」ダケガ人生ダ」、そして、「カラコギ」から、「あなたが空しく生きた今日は、昨日死んでいった人が、あれほど生きたいと願った明日なのだ」。この二つの詩にあるのは、「Seize the day」「今を大事に生きる」ということです。新しい年を迎えるにあたり、皆様におかれましては一日一日を大事に生きていきましよう。

(総務委員会 佐々木 一郎)